



日本社会事業大学は、
2016年に
創立70周年を迎えます。



社大同窓会

vol.
76

Japan College of Social Work Alumni Association

日本社会事業大学は、2016年(平成28年11月)に70周年を迎えます。
この節目を迎えるに当り、同窓会では、運営委員会が中心となり「母校70周年同窓会記念事業」を企画します。

また、70周年記念募金は、今回同窓会としては実施しませんが、母校が行う「創立70周年記念募金事業」に賛同いたしますので、同窓生の皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。

母校・日本社会事業大学「創立70周年記念募金事業」への協力をお願い

日本社会事業大学同窓生の皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

日本社会事業大学同窓会も、昨年は12年振りに同窓会名簿を発刊し、改めて1万7千人に上る同窓生の動向を把握する努力を致しました。同時に、故五味百合子先生から遺贈された「五味基金」を有効に活用し、同窓生のリカレント教育の機会や母校の使命である全国の社会福祉実践向上に寄与することを目的に全国各地での「社会福祉セミナー」の開催を行ってまいりました。

さらには、近年、福祉系大学が各地に設立されたことにより、母校社会福祉学部の学生が関東一円からの入学者中心となってきた状況も踏まえ、全国各地からの入学者がいる通信教育科の修了生も同窓会会員になって頂き、母校の使命達成に貢献できればと考え、入会促進活動を積極的に取り組んでいるところです。

さて、母校日本社会事業大学は皆様ご承知のように1946年11月9日に創立されました。2016年11月9日には70周年を迎えます。

母校の教育及び経営は、独立行政法人国立大学も含めた今日

の一連の大学改革の流れもあって、厚生労働省からの委託費も減額され、かつ他の福祉系大学が多数設立されてきた状況の中で母校の使命遂行に大きな課題を抱えています。母校では、これらの課題を解決するため、全国の社会福祉実践をリードする優秀な人材を輩出するための教育研究の充実強化、国際的にも評価される国際的ソーシャルワーク研究の拠点大学にすべく「創立70周年記念募金事業」を企画しています。

就きましては、日本社会事業大学同窓会としましても母校が行う「創立70周年記念募金事業」に賛同し、大いに協力したいと思えます。同窓生の皆様には、「社会の福祉誰が任ぞ」と謳われた校歌の一説を思い起こして頂き、かつ70年前に「平和共生」を願った母校の創立の理念を未来に繋ぐためにも、母校の「創立70周年記念募金事業」にできる限りのご協力、ご支援をお願い致します。

2015年6月27日・同窓会幹事会の日に

建学の精神「平和共生」を祈念して

日本社会事業大学同窓会

会長 大橋 謙策



5月16日(土)・17日(日) 日中の部は社大テニスコート
硬式庭球部OBOG総会 夜の部は池袋で。現役を含め90人余が参加

7月4日(土)
茨城県支部総会・地域福祉講演会(日立シビックセンター)



同窓会茨城県支部長が交代
地域福祉講演会

6月27日(土) 同窓会幹事会(母校会議室)



7月12日(日) オープンキャンパス

7/12日	日本社会事業大学	オープンキャンパス2015	「ノーマルワーカーの仕事を知ろう」
10:00-11:00	入校説明会	10:00-11:00	10:00-11:00
11:00-12:00	入校説明会	11:00-12:00	11:00-12:00
12:00-13:00	入校説明会	12:00-13:00	12:00-13:00
13:00-14:00	入校説明会	13:00-14:00	13:00-14:00
14:00-15:00	入校説明会	14:00-15:00	14:00-15:00
15:00-16:00	入校説明会	15:00-16:00	15:00-16:00
16:00-17:00	入校説明会	16:00-17:00	16:00-17:00
17:00-18:00	入校説明会	17:00-18:00	17:00-18:00
18:00-19:00	入校説明会	18:00-19:00	18:00-19:00
19:00-20:00	入校説明会	19:00-20:00	19:00-20:00
20:00-21:00	入校説明会	20:00-21:00	20:00-21:00
21:00-22:00	入校説明会	21:00-22:00	21:00-22:00
22:00-23:00	入校説明会	22:00-23:00	22:00-23:00
23:00-24:00	入校説明会	23:00-24:00	23:00-24:00
24:00-25:00	入校説明会	24:00-25:00	24:00-25:00
25:00-26:00	入校説明会	25:00-26:00	25:00-26:00
26:00-27:00	入校説明会	26:00-27:00	26:00-27:00
27:00-28:00	入校説明会	27:00-28:00	27:00-28:00
28:00-29:00	入校説明会	28:00-29:00	28:00-29:00
29:00-30:00	入校説明会	29:00-30:00	29:00-30:00
30:00-31:00	入校説明会	30:00-31:00	30:00-31:00
31:00-32:00	入校説明会	31:00-32:00	31:00-32:00
32:00-33:00	入校説明会	32:00-33:00	32:00-33:00
33:00-34:00	入校説明会	33:00-34:00	33:00-34:00
34:00-35:00	入校説明会	34:00-35:00	34:00-35:00
35:00-36:00	入校説明会	35:00-36:00	35:00-36:00
36:00-37:00	入校説明会	36:00-37:00	36:00-37:00
37:00-38:00	入校説明会	37:00-38:00	37:00-38:00
38:00-39:00	入校説明会	38:00-39:00	38:00-39:00
39:00-40:00	入校説明会	39:00-40:00	39:00-40:00
40:00-41:00	入校説明会	40:00-41:00	40:00-41:00
41:00-42:00	入校説明会	41:00-42:00	41:00-42:00
42:00-43:00	入校説明会	42:00-43:00	42:00-43:00
43:00-44:00	入校説明会	43:00-44:00	43:00-44:00
44:00-45:00	入校説明会	44:00-45:00	44:00-45:00
45:00-46:00	入校説明会	45:00-46:00	45:00-46:00
46:00-47:00	入校説明会	46:00-47:00	46:00-47:00
47:00-48:00	入校説明会	47:00-48:00	47:00-48:00
48:00-49:00	入校説明会	48:00-49:00	48:00-49:00
49:00-50:00	入校説明会	49:00-50:00	49:00-50:00
50:00-51:00	入校説明会	50:00-51:00	50:00-51:00
51:00-52:00	入校説明会	51:00-52:00	51:00-52:00
52:00-53:00	入校説明会	52:00-53:00	52:00-53:00
53:00-54:00	入校説明会	53:00-54:00	53:00-54:00
54:00-55:00	入校説明会	54:00-55:00	54:00-55:00
55:00-56:00	入校説明会	55:00-56:00	55:00-56:00
56:00-57:00	入校説明会	56:00-57:00	56:00-57:00
57:00-58:00	入校説明会	57:00-58:00	57:00-58:00
58:00-59:00	入校説明会	58:00-59:00	58:00-59:00
59:00-60:00	入校説明会	59:00-60:00	59:00-60:00
60:00-61:00	入校説明会	60:00-61:00	60:00-61:00
61:00-62:00	入校説明会	61:00-62:00	61:00-62:00
62:00-63:00	入校説明会	62:00-63:00	62:00-63:00
63:00-64:00	入校説明会	63:00-64:00	63:00-64:00
64:00-65:00	入校説明会	64:00-65:00	64:00-65:00
65:00-66:00	入校説明会	65:00-66:00	65:00-66:00
66:00-67:00	入校説明会	66:00-67:00	66:00-67:00
67:00-68:00	入校説明会	67:00-68:00	67:00-68:00
68:00-69:00	入校説明会	68:00-69:00	68:00-69:00
69:00-70:00	入校説明会	69:00-70:00	69:00-70:00
70:00-71:00	入校説明会	70:00-71:00	70:00-71:00
71:00-72:00	入校説明会	71:00-72:00	71:00-72:00
72:00-73:00	入校説明会	72:00-73:00	72:00-73:00
73:00-74:00	入校説明会	73:00-74:00	73:00-74:00
74:00-75:00	入校説明会	74:00-75:00	74:00-75:00
75:00-76:00	入校説明会	75:00-76:00	75:00-76:00
76:00-77:00	入校説明会	76:00-77:00	76:00-77:00
77:00-78:00	入校説明会	77:00-78:00	77:00-78:00
78:00-79:00	入校説明会	78:00-79:00	78:00-79:00
79:00-80:00	入校説明会	79:00-80:00	79:00-80:00
80:00-81:00	入校説明会	80:00-81:00	80:00-81:00
81:00-82:00	入校説明会	81:00-82:00	81:00-82:00
82:00-83:00	入校説明会	82:00-83:00	82:00-83:00
83:00-84:00	入校説明会	83:00-84:00	83:00-84:00
84:00-85:00	入校説明会	84:00-85:00	84:00-85:00
85:00-86:00	入校説明会	85:00-86:00	85:00-86:00
86:00-87:00	入校説明会	86:00-87:00	86:00-87:00
87:00-88:00	入校説明会	87:00-88:00	87:00-88:00
88:00-89:00	入校説明会	88:00-89:00	88:00-89:00
89:00-90:00	入校説明会	89:00-90:00	89:00-90:00
90:00-91:00	入校説明会	90:00-91:00	90:00-91:00
91:00-92:00	入校説明会	91:00-92:00	91:00-92:00
92:00-93:00	入校説明会	92:00-93:00	92:00-93:00
93:00-94:00	入校説明会	93:00-94:00	93:00-94:00
94:00-95:00	入校説明会	94:00-95:00	94:00-95:00
95:00-96:00	入校説明会	95:00-96:00	95:00-96:00
96:00-97:00	入校説明会	96:00-97:00	96:00-97:00
97:00-98:00	入校説明会	97:00-98:00	97:00-98:00
98:00-99:00	入校説明会	98:00-99:00	98:00-99:00
99:00-100:00	入校説明会	99:00-100:00	99:00-100:00

7月19日(日) 準硬式野球部・劇団ピッポ
OB集会(社大カフェテラス)



同窓会伊藤顧問を囲み、野球部と劇団ピッポのOBが40名参加

9月13日(日) 大分県支部総会
(大分オアシスタワーホテル)



3年ぶりの支部集会を開催



オープンキャンパスへようこそ
現役スタッフが活躍

社大福祉フォーラム企画委員会及び運営委員長 日本社会事業大学自治会長 日下公佑

初の参加人数千人 突破を目指して

今年度は、参加者が約千人集まり例年より賑わいを見せました。今年度から実行委員会の許可をいただき、学生の運営を組織化しました。毎年、学生が集まって当日のお手伝い等はしていたのですが、今年度からは本格的に一つの運営委員会として設置されました。学内学会は、通常大学の先生方が組織している①組織委員会②プログラム企画委員会③機関紙委員会④木田賞等の選考委員会⑤広報委員会。そして、今年度から私たち学生が組織する⑥企画委員会及び運営委員



委員長・自治会長 日下公佑(大阪出身)／副委員長 栗城 秀緒(神奈川出身)
企画局長 橋下 梓(埼玉出身)／企画局長 田中 智葵(東京出身)
広報局長 石川 晶(東京出身)／事務局長 小畑 葵(神奈川出身)
新入生歓迎長 荒川和紀(新潟出身)

会が設置されました。学生人数は、当日のみ手伝っていたいた学生の人数を合わせる八十人前後となりました。中心となったのは、二三人ほどです。

その中で私たちは、四つの部署に分かれて活動をしました。①本部企画局(企画運営) ②学生広報局(学内広報) ③事務局(事務) ④運営局(運営幹事の統括)です。その中で特徴的な活動をしたのが、①本部企画②学生広報局です。①本部企画では、日本社会事業大学の同窓生の方と学生で行う事例検討会。そして、他の福祉系大学生とのパネルディスカッションを行いました。両方とも多くの方がご参加いただきました。また、②学内広報では、必修の時間での広報の

みならずツイッター(しゃもしくん)を立ち上げ学内学会の広報につとめました。また、ツイッターでは学生に見てもらえるようにただ学内学会の広報をするだけでなく、学内の情報(休校補講情報等)を一括してツイッターにて流す工夫をいたしました。

今回さまざまな学内学会での活動や準備に協力できたのは、学生だけの力ではなく教職委員・同窓会の方のご理解とご協力があつたからです。今後も教員・職員・同窓会の方とご協力しながら学内学会を盛り上げたいと考えております。



木田賞贈呈式
実践賞 真鍋喜代美さん(1980年卒)



豊中市社会福祉協議会の勝部麗子さんに講演いただきました



学生幹事会



学生企画



夏合宿 山中湖でボートに乗りみんなで写真を撮りました。



年間活動メモ

2014年

- 4月 新入生歓迎パーティー 新歓合宿
- 5月 清瀬市民大会 シングルス
- 7月 高尾山ビアガーデン (毎年恒例です)
- 8月 夏合宿 (テニス部伝統の交代を含めた3泊4日です)
- 11月 学祭露店 (毎年テニス部は焼きそばを作っています)
- 清瀬市民大会 団体戦

2015年

- 2月 冬合宿 (スキー・スノーボードを楽しみます)
- 追い出しコンパ
- 3月 卒業式飲み会

夏合宿最終日前夜から朝まで盛大に行われる交代。
1年間テニス部を引っ張ってくださった先輩方への感謝の儀式です。

テニス部

硬式テニス部とは??

「テニス部です!」とはいっても私たちはあまりテニスをしません。一体なぜなのか。それはテニスをしなくてもみんなで楽しめることがたくさんあるからです。部員のほとんどは初心者で経験者は2、3割程です。しかし皆テニス部が一番居心地がいいと口を揃えて言います。「テニスはもちろんだけど、楽しいことがしたい」という思いが集まった部がテニス部です。



夏本番! 恒例の高尾山ビアガーデン!
眺めのいい景色とビールを楽しみます。



4年生追い出しコンパ。
これまでテニス部を支えてきた4年生を盛大に追い出すパーティーです。



これからの活動

昨年度よりテニス部はOB総会を行い始めました。社会人1年目という方から現役生が生まれる前にはもう既に卒業をしていたという方々まで、さまざまな年代の方々が参加してくださっています。テニス部愛が世代を超えて繋がるように、これからのテニス部の恒例行事にしていきたいと思えます。

母校の支援と同窓生のネットワークを生かすため、あなたの同窓会への参加をお待ちしています。

同窓会栃木県支部の活動について

同窓会栃木県支部では、母校同窓会顧問でもある石橋俊一会長のもと、精力的に活動を行っております。

平成26年度に行った主な事業は、①総会の開催②在校生との交流会③清瀬世代交流会④会報の発行です。



総会では大橋謙策先生をお招きしての講演会、そして栃木県の会員4名が受賞した木田(実践)賞の祝賀会も併せて行いました。

在校生との交流会は、同窓会県支部役員が母校に出向き、栃木県出身の在校生と会食しながら、県内の就職状況についてなど情報提供を行いました。清瀬世代交流会は、清瀬校舎で学んだ(比較的)若い世代が集まりました。

今年の総会(平成27年8月9日)では、大橋先生の講演に続き、先生をコーディネーターと

して、県社会福祉士会会長、県老人福祉施設協議会会長、そして全国社会福祉法人経営者協議会副会長でもある、岩崎同窓会副会長によるシンポジウムを開催いたしました。

テーマは「新たな社会福祉の方向性～地域包括ケアの構築を目指して～」同窓会だけではなく、広く県内の各種団体に参加を呼びかけたこの講演会では80名の参加者があり、急ぎょ会場を大きな部屋に変更したほどの盛況でした。

栃木県支部も、なかなか若手会員が増えないという課題もありますが、最近では学部卒のみならず、専門職大学院卒などの同窓会員も増えてきました。

今後は原宿世代のみならず、清瀬世代も巻き込みながら活動を進めていきたいです。

(文責: 栃木県支部同窓会事務局 菊池浩史)



茨城県支部総会を開催しました

梅雨真っ盛りの7月4日、日立市にあるシビックセンターにて、茨城県支部総会を開催しました。

総会に先立ち、母校准教授、同窓会本部事務局長そして本県出身でもある菱沼幹男先生をお招きし、講演会を行いました。講演会では「新たな時代における地域福祉の推進」をテーマに、地域力を高めるコミュニティソーシャルワーカーについてお話をいただきました。参加者は、市民16名、同窓会員21名の計37名でした。

総会では、大学の近況(創立70周年記念事業や学生の動向など)について、菱沼事務局長から報告をいただいたあと、支部の事業や会計報告等を承認しました。その後、懇親会を行い、菱沼先生を交えて、同窓生同士の交流を深めました。

茨城県支部では支部活動を活性化するために、県内4地区に区切り、地区担当幹事をおいて順番に総会を開催していますが、今回は吉田副支部長(研究科23期)、川越幹事(学部30期)に大変、お世話になりました。

なお、30年近くにわたって支部長を務めていただいた上田忠義氏(本科2期)が勇退し、新支部長には伊藤博胤氏(本科10期)が選出されました。上田さんには、本県支部長のみならず同窓会本部の会長も歴任され、同窓会活動の充実にご活躍されました。これまでのご尽力に感謝申し上げます。

社大硬式庭球部 OBOG総会を開催しました

5月16日、17日に、硬式庭球部のOBOG総会を開催しました。OBOGが、一人でも多く参加できるように、日中の部と夜の部を設けました。

日中の部は、16日、17日の2日間にわたり、本学のテニスコートにて、ダブルスを行いました。現役時代を彷彿させる華麗な(?)プレイを随所に見せてくれました。また、参加者のご子息もコートに立ち、一緒にプレイ!将来が楽しみです。夜の部は、池袋にて開催しました。元顧問の関家新助先生(本学名誉教授)をお招きし、盛大な会となりました。参加者の最年長は1976年度生、創立に関わった偉大なる先輩です。そして各々の年代でテーブルを囲み、旧交を温めました。また現役世代もOBOGの話を聞いて、庭球部の歴史をあらためて知ることとなりました。

硬式庭球部でも、原宿世代と清瀬世代が存在します。しかし、ラケットとボールがあれば「世代を超えて通じ合えるものがある」と思いました。2日間での参加者は、OBOGそして現役を含めると90人余。都合の良い時間に参加できるようにしたこともありますが、創部40年の賜物でしょうか、大成功のうちに終了しました。

《大分県支部より》

9月13日(日)、10時20分から大分オアシスタワーホテルの20F「アトラス」にて、3年ぶりの県支部の集会を開きました。高瀬大分県支部長の開会あいさつに続き、来賓として藤崎佐賀県支部長が遠方から駆けつけていただきましたので一言ご挨拶をいただきました。そして自己紹介で最近の活動報告をそれぞれしていただき、本校から菱沼同窓会事務局長(大学准教授)さんをお迎えし、社大の現況と最近の福祉の動向についてお話をさせていただきました。

積極的な質問が飛び交いながらも、昼食時にはお互いの情報交換をして、和やかに時間が過ぎていきました。

今回は、お子さんの運動会や社員旅行など重なって半数の参加でしたが、また次回は、日田市で開催しようと思っております。

時間の過ぎるのが早いので、計画的に開催をしていきたいと思っております。
大分県支部 事務局長 後藤政浩



来年は、日本社会事業大学は創立70周年を迎えます。母校の益々の発展と硬式庭球部のさらなる飛躍を願っております。なお今回、総会を開催するにあたり、中心となって動いていただいたOBOGの皆さん、本当に感謝申し上げます。そして、社大硬式庭球部OBOGの皆様、5年後に再び社大テニスコートに集まり、総会を盛大に開催しましょう。

※社大硬式庭球部OBOG会のホームページを立ち上げました。アドレスは以下の通りです。

<http://jcsw-tennisclub.jimdo.com/>

もっと

全国で支部セミナー～を！

今年のセミナー開催支部に、これまでの取り組み状況や参考となるノウハウを紹介していただきました。

北海道支部

セミナー開催で社大の存在をアピール

北海道支部事務局長 金子修郎

北海道支部の始まりは資料が無い為詳細は不明です。広い道内に会員は100名程。毎年1月に札幌で総会とミニ研修を、秋に温泉地でセミナーを開催し、其々20名内外が参加されています。近年は、他団体とも連携し「市民公開セミナー」として、本学から講師を招き、支部会員がパネリストに、など社大の存在をアピールしています。機関誌「アガベ」も発行し、各会員に寄稿頂き、配布しています。

●最近のセミナーの概要

昨年のセミナーは函館で、「地域福祉フォーラム」と銘打ち、視力障害者優先共同住宅「はこだての家日吉」を建設、運営している会員による基調講演、地元社協や地域団体のシンポジストによる取組の数々、課題等話されました。高齢化と孤立化対策に、元気なおお

ちゃん達や学生ボランティアも巻き込む等が報告されました。

今年は、道北(旭川周辺)幹事が担当し、11月7日(土)、8日(日)美瑛町白金温泉にて開催です。本学より金子恵美教授をお招きし「子ども子育て支援法」のご講演を、また同窓会伊藤博胤顧問からは現状と課題報告を頂きます。2日目は「北海道療育園」を見学致します。

11月旭川で
お目に
かかりましょう

あさっぴーも
待っています。



7年前、青森支部合同「青函同窓会セミナー」を浅虫温泉椿館で開きました。新幹線も繋がるそうですので、今度は北海道で如何ですか？(平成11年は大沼で合同開催)

福島支部

支部活動としてのセミナー

福島県支部長 神戸信行

福島支部は、昭和30年代に故宮崎義宣氏(研究科3期卒)を初代支部長として結成されました。結成当時から県等の公務員として、あるいは民間社会福祉の分野で活躍した会員の存在があり、今日の支部(会員45名)の礎となりました。現在は、若い世代が参加し支部活動をどのように継承するかが大きな課題となっています。

●最近のセミナーの概要

同窓会総会開催の際に行って来た母校の先生を囲んでの勉強会を、地域に開放することから始まったのが支部活動としての福祉セミナーです。セミナーの開催は、平成18年から毎年1回行われてきました。2011年3月の東日本大震災の影響で2年間は開催できませんでしたが、その後母校の支援をいただき、次の通りセミナーを再開することができました。

●2013年「東日本大震災後の『今』～これからの生活と支援」

於郡山市／講演:潮谷義子理事長／基調講演:大橋謙策同窓会会長

※宮城県、岩手県各支部からシンポジストを推薦いただき、さらに東北各県や新潟県からも参加いただき、各県支部との交流のよ

い機会となりました。

●2014年「これからの地域包括ケアと地域福祉推進について～過疎・少子高齢化地域における福祉活動と人材確保について」

於昭和村／講演:菱沼幹男准教授(同窓会事務局長)

※地元生協で奮闘する卒業生が中心に昭和村の協力を得て企画し、近隣町村からも参加いただき地方の課題について考える有意義なセミナーとなりました。

福島県は「中通」「会津」「浜通」の3地域に別れており、各支部の持ち回りで開催してきました。今年は、地域の社協や社会福祉法人の協力を得て、いわき市で開催する予定です。福島第一原子力発電所の事故から4年余りが過ぎても復興の課題は山積している状況の中で、「今求められる社会福祉法人の役割」について考えたいと思います。

セミナーの準備にあたって留意していることは、企画準備の段階に若い世代の参加を得ること、地域の社会福祉関係団体との協力関係を得て地域貢献できる内容とすることです。

長野支部

セミナー開催で社大を発信してゆくことも支部の役割

長野県支部長 野村健一郎

長野支部は、昭和42年に自治体から派遣された研究科卒業の先輩によって再結成され、以降、1～3年の間隔で総会・懇親会を中心として開催されてきました。参加者は10～16名でした。平成になって、学部卒業生および、同年代の研究科卒業生に中心が移り、3～4年の間隔で開催し、参加者は15～20名で推移してきましたが、若い同窓生の参加が少ない課題に直面しています。

●最近のセミナーの概要

支部がセミナーを開催したのは、平成13年に松本市社協と共催で、大橋教授の講演と卒業生によるシンポジウムで構成し、200名の参加者を得ています。その後2回、支部総会に参加された母校の先生による公開講演会を開催し、各会40名ほどの参加がありました。

今年は8月23日(日)に佐久市で「多職種連携」をテーマに、地域医療を推進している医師の基調講演及び、高齢者、障害者、

児童の3分野からの意見発表並びに、大橋名誉教授の総括講演のセミナーを開催します。長野県社会福祉士会との共催で、長野県、県社協及び、各職能団体等が後援です。200名の参加者を見込んでいます。

各職能団体が独自にセミナー等を開催している現在、職能団体をつつとまとめたセミナーを開催することが、同窓会の存在をアピールするためには最適だと思いますが、これには、共催する団体の全面的協力が必要です。しかし、当支部のように事務局体制が弱い支部でも、母校の先生の専門分野の職能団体を後援として、その団体の会員へ周知する形で、講演会を行うことは可能だと思います。セミナー開催で「日本社会事業大学」名を発信していくことも支部の役割であろうかと考えています。

◆2015年度事業計画

- ① 運営委員会および事務局会議を2か月に1回程度開催。長野県支部他の地方大会開催に向けた調整、各支部からの情報発信の強化を行う。
- ② 支部会、同期会等に本部役員および母校教員を派遣。研修機会の提供や母校に関する情報提供を行う。支部活動費は各支部からの請求により、3万円を上限として交付。

◆母校70周年記念事業

母校創立70周年記念事業については、同窓会主催のセミナー等を開催する。

◆その他の議事

同窓会活動費補助費交付規程等について協議。また、付帯事項として、会費減少理由の精査と決算報告書類の検討

2014年度 日本社会事業大学同窓会収支計算書
2015年度 日本社会事業大学同窓会予算

収入の部		(単位：円)	
科目	2014年度決算額	2015年度予算額	
前年度繰越金	5,276,257	2,271,358	
会費収入	2,987,940	5,000,000	
入会金収入	855,000	807,000	
利息収入	731	500	
雑収入・会費振替残	5,840	1,000	
合計	9,125,768	8,079,858	

【収支差引額】

9,125,768 - 6,854,410 = 2,271,358
(収入決算額) (支出決算額) (翌年度繰越額)

◆2014年度同窓会基金(元会館建設基金)現在高

19,475,114円

◆2014年度五味基金

20,908,196円

支出の部

科目	2014年度決算額	2015年度予算額
会議費	95,111	200,000
委員会活動費	220,082	200,000
機関誌等発行費	1,943,846	4,000,000
通信運搬費	40,552	120,000
支部強化費	1,055,164	1,200,000
支部出張等費	278,432	300,000
学内学会助成費	100,000	100,000
卒業記念品費	226,250	300,000
国際交流推進費	27,500	80,000
人件費	450,015	600,000
事務局活動費	98,178	200,000
事務局業務委託費	0	160,000
システム管理費	0	150,000
ホームページ関係諸費	40,924	100,000
慶弔費	31,524	50,000
名簿作成費	2,246,832	0
予備費	0	319,858
合計	6,854,410	8,079,858

活動報告(菱沼事務局長ツイッターより)

3月28日 正副会長・顧問会議



大学70周年記念事業への協力等について協議しました。その後、大学生協で通信教育生の修了を祝う会があり、懐かしい方々にもお会いできました。同窓のつながり室です。

6月27日 同窓会幹事会

来年度の大学創立70周年に向けての同窓会活動の活性化等について話し合いました。このツイートをご覧の本学卒業生の皆様、同窓会会費や70周年募金、都道府県支部活動へのご協力よろしくお祈いします。



同窓会費納入にご協力を

毎回約8,000名の同窓生に会報「社大同窓会」を送付していますが、会費の納入は、1,000名台にとどまっています。同窓会財政が厳しくなりつつある中、会費納入者だけに会報を送るといったアイデアもありますが、我々社大生の解決策としては下策と考えています。

一人でも多くの方のご協力を心からお願いする次第です。

副会長 木村尚文

「同窓会福祉サロン」の使用について

本同窓会では、母校の文京キャンパスに「同窓会福祉サロン」を設けています。文京キャンパスの開館時間内であれば、予め申し込みをすることにより、無料で使用することができます。使用を希望する場合は、必ず校友室(同窓会事務局)にご連絡下さい。



なお、予約した日時に同窓会用務が入った場合は、教室への移動や日程等の調整をお願いする場合があります。

【所在地】

東京都文京区小石川5-10-12

日本社会事業大学 文京キャンパス1階 同窓会福祉サロン

【使用時間】

使用できるのは、文京キャンパスの開館時間内です。

月曜日：閉館

火曜日～金曜日：9時00分～17時00分

(授業のある日は、概ね遅くても22時まで)

土曜日：9時00分～12時30分

(授業のある日は、概ね遅くても18時まで)

日曜日：閉館

【連絡先】

日本社会事業大学 校友室(清瀬キャンパス)

電話：042-496-3053(直通)

【母校ホームページ キャンパス紹介】

<http://www.jcsw.ac.jp/about/outline/campus.html>

ご逝去

母校名誉教授 高澤武司先生(5月7日)

母校名誉教授 三浦文夫先生(8月3日)

同窓会顧問・母校元学長 仲村優一先生(9月28日)

※「偲ぶ会」のご案内は同窓会ホームページに掲載します。

すべての人の人権が尊重され、自己実現できる社会を目指して

学 部 36 期
酒 寄 学 部 36 期
(1996年卒)



フチ準硬式野球部 & 松窓寮OB会
(7月、右から2番目が私です)

地域生活定着支援センターとその運営について、社会福祉法人 芳香会の取り組み

私が所属する社会福祉法人 芳香会は、茨城県西部地域で高齢・障害・児童・司法分野で事業展開しております。

今年、法人創立四十五周年を迎えるにあたり、記念事業として2つの講演会を企画しました。一つが「地域づくり講演会」、もう一つが「司法福祉講演会」です。このことからお分かりいただける通り、現在、芳香会が特に力を入れて取り組んでいるのが、「地域づくり」であり、「司法福祉」です。

茨城県西部地域も、少子高齢化、人口減が進み、これまで盛んに取り組まれていた地域の事業や行事が維持できなくなり、若い世代の都市部への転出も目立ちます。そのような中、芳香

会の施設が所在する地域で、小学生から老人クラブの方々まで、地域住民や企業とのコラボレーションで様々な活動を展開しておりますが、このような活動の輪をさらに広げべく企画したのが「地域づくり講演会」です。

また、平成二十二年に地域生活定着支援センターの事業を茨城県から受託したことをきっかけに、罪を犯した方の地域社会の中での生きにくさに気付き、「司法福祉」に力を入れるようになりました。

現在では、芳香会の各施設・事業所で、法務省の事業である「社会貢献活動」「協力雇用主」「自立準備ホーム」に事業所登録し、本務である「介護保険法」や「障害者総合支援法」上の事業のほか、罪を犯して地域社会の中で生きにくさを抱えた方々の支援を行っております。

事業展開への思い

地域生活定着支援センターは、福祉的ニーズのある罪を犯した高齢者や障害者を支援する事業所です。平成十八年の下関駅放火事件や元衆議院議員・山本譲司氏の著書「累犯障害者」により、矯正施設（刑務所や少年院等）での福祉的ニーズのある高齢者や障害者の存在が明らかになり、且つこのような方々

過去の複数回に及ぶ受刑歴や有する障害により社会生活で生きにくさを抱え、抛り所もなく、いつしか矯正施設が居場所にならなくなってしまったということが認識され制度化に至りました。主に、対象者の方が矯正施設に入所している段階から支援を開始し、その方のニーズに応じて出所時に速やかに福祉施設・事業所へつながるよう、調整を行います。また、福祉施設・事業所へつながった後も、安定した生活が送れるようになるまで、引き続き支援を継続します。

着任して四年が経過しましたが、今、最も感じていることは「犯罪は環境が作り出す」ということとあります。対象者の方の生活歴を伺うと、様々な理由（特に軽度の障害、きっかけ（過去の犯歴等）で居場所をなくし、孤立し、生きていくために繰り返し罪を犯している方が多いという）ことであります。社会の側に障害を抱える方の生きにくさや罪を犯した方の更生に理解があり、温かく見守っていただければ、少なくともこれまで私が支援させていただいた方々は地域社会で活躍できていたであろう、と考えております。

そのため、対象者の個別的な支援はもちろんのこと、このような方々も温かく見守っていた

だけの社会を創造するために事例を携えて県内の行政機関や福祉事業所を回らせていただいたり、話をする機会をいただいたりしています。

学生時代の思い出

学生時代は、松窓寮で四年間を過ごし、準硬式野球部、硬式テニス部、一之江セツルメント、学内障害者問題を考える会など、(コンパ)に参加するだけのものを含め)様々な団体に所属していました。二年生時に「松窓寮実行委員長」、三年生時に準硬式野球部で「秋季リーグ戦二部優勝」、四年生時には学祭での「ミスター社大」といった、(他力本願で)華々しい学生生活を送る一方、学業成績は散々たるものでした。

そして、就職して初めて学問的知識の必要性を認識し、勉強するということ覚え、大学院(博士前期課程)入学・修了に至りました。

しかし、今にして思えば、このような四年間の学生生活の中で、社会人として大切な先輩からの可愛がられ方や後輩の可愛がり方を、そしてソーシャルワーカーとして最も大切な人間関係の作り方を学ばせていただいたのだと思います。

今でも、地域生活定着支援センターの業務で、茨城県内全域の行政機関、福祉事業所を回らせていただきますが、学生時代にお世話になった複数の先輩方にお会いし、そして何かと

助けていただいております。

今後の抱負

元々、私は高校時代に養護学校(当時)でのアルバイト経験や島崎藤村の「破戒」を読み、世の中に不平等や差別があることを認識し、社会福祉の道を志すようになりました。

そして、今、罪を犯した障害者や高齢者に接し、その方々の生活歴や矯正施設からの出所後の生活に接する中で、不平等や差別が現存することを肌身で感じております。

百年以上前のドイツで活躍していた刑法学者フランク・フォン・リストの言葉に「最良の刑事政策とは、最良の社会政策である」という言葉があります。

これからも罪を犯した障害者や高齢者に限らず、すべての人の人権が尊重され、自己実現できる社会を目指し、ソーシャルワーカーとして地道に努力していきたいと思っております。

プロフィール

茨城県生まれ。平成4年、日本社会事業大学入学。学部36期。平成8年、社会福祉法人芳香会へ入職。養護老人ホーム生活指導員を皮切りに、特別養護老人ホームソーシャルワーカー、居宅介護支援事業所介護支援専門員、介護老人保健施設支援相談員と、15年間の高齢者施設・事業所勤務を経て、平成23年から地域生活定着支援センターに管理者として勤務。また、この間、平成14年から2年間、大学院博士前期課程で学び、平成23年から芳香会社会福祉研究所の研究員を兼務している。